

留学先国名 : タイ

留学先学校名 : Thammasat University

留学期間 : 平成 28 年 8 月 11 日 ~ 平成 29 年 6 月 1 日

留学当初は一人暮らしの仕方もわからない不安でいっぱいの私でしたが、タイで約 10 か月の留学生活を送り、日本に帰国する時は日本にまだ帰りたくないというほど私の気持ちも、考え方にも変化が起きている。タイでの留学は私に様々な影響を与えてくれ、今も与え続けてくれていると感じています。留学を通して得たことは沢山ありますが、その中の 3 つについて話したいと思います。

まず、1 つ目は「語学力」です。留学が始まった当初は、日本で 2 年間タイ語を勉強してきたにも関わらず、自分の話すタイ語が想像以上に現地の人に伝わりませんでした。そのことが非常にショックで、自信を無くし、自ら積極的に話しかける勇気が持てない時期もありました。しかし、受け身の状態のままでは何も成長はできないと思い、恥を捨てただただ成長したいという想いに真っ直ぐになることに決めました。それから、積極的に行動しました。特に、一番の挑戦だったのは、現地の学生の講義への参加に挑戦したことです。そして、見事修了できました。留学先の大学では留学生は留学生用の講義に参加することが通常であり、現地学生の講義に参加する学生はいませんでした。しかし、高いレベルの環境に身を置くことで、留学の目標であった語学力の向上を達成させたいと思い、現地学生の講義への参加にチャレンジしました。当初は想像以上に困難なものでした。授業は理解できないまま進み、授業内で行われるグループワークでもあまり意見が言えず、悔しい思いをしました。しかし、決して諦めず、毎日 5 時間の予習と復習に取り組み、地道に努力した結果、語学力は飛躍的に向上し、先生方からは称賛の言葉も頂きました。この経験から、語学力が伸びたと共に、自分自身にも自信を持つことができるようになりました。自信が付き、以前より堂々として話せるようになりました。

留学を通して得た 2 つ目は、「行動力」です。何事に対しても主体的に行動する力が身についたと思います。留学では自らが行動を起こさない限り、何も起こりません。例えば、自ら話しかけて友達を作ろうとしない限り、友達もできません。助けて欲しい時も、誰かに助けて欲しいと言わなければ、誰も助けてくれません。常に主体的に行動することが求められています。私は以前から、通訳の仕事に興味を持っていました。今までは語学力に自信がまだなかったため、挑戦しなかったのですが、留学中に思い切って自ら探し、通訳ボランティアに挑戦しました。タイのある村で、日本の企業が村の人々のための広場を建設するというプロジェクトに通訳として参加しました。工事現場で使う語彙は普段日常で使わない単語ばかりであるため、悪戦苦闘したり、村の人々の訛りがきつく、聞き取りに苦労したりなど、通訳の仕事の難しさを、身をもって体感しました。この通訳ボランティアの経験によって、自分の具体的な課題点を発見することができ、非常に価値のある経験でした。また、主体的に行動する力だけではなく、問題に直面しても、怯むことなく乗り越えていく力が身についたと思います。

留学を通して得た最後の 3 つ目は「客観性」です。タイでの留学を通じて、客観性を身につけることが

できたと思います。自身を客観的に見つめること、日本を客観的に見つめることができるようになりました。またさらに、タイで自分が外国人という立場で過ごしていた経験から、外国人が感じることや思うことを身をもって体感したことで、外国人から見た視点を持ち客観的に考えることができるようになったと思います。タイでの留学経験は自身を見つめ直す期間となりました。タイ人、韓国人、中国人、ドイツ人など様々な文化背景を持つ人々と出会い、互いにコミュニケーションを交わすことで、自分はどのような文化の中で今まで生きてきたのか、どのような考えを持って過ごしていたのか、自分はどのような人物であるのか、を考え始めるようになりました。そして、摸索を繰り返すことで自己理解を深めることができました。

また、タイで生活し日本を客観的に捉えることができるようになったため、日本の良さ、日本のこれからの課題点を他国と比較することで再発見することができました。加えて、タイで外国人として生活した経験が非常に良い経験になったと思います。少数派として日々生活する中で時折感じる疎外感や歯痒さを経験することができました。多数派の人は気づかないが、少数派は感じるものが日常生活にあることに気づけたことは非常に意義深い経験でした。

留学で得たこれらを活かして、将来は日本に来る海外の人々に日本の魅力を感じてもらうように貢献したいと考えております。留学で学んだ外国人としての視点を活かして、外国人の人たちが快適に、充実した旅行や生活をするようにインフラの整備や新しい制度の創造をしたいと考えています。

これから留学する人たちへ。今は留学に対して楽しみ半分、不安半分の気持ちを持っている人が多いのではないのでしょうか。一年前の私もそうでした。私の場合、どちらかというと不安が大きかったです。しかし、現地に行けば不安だと思っていたことが、大したことではないことがほとんどでした。思ったよりも現地の生活にすぐ順応し、慣れていきます。留学生活はあっという間です。10か月もあると思っていましたが、10か月も無かったように感じるほど、とても早かったです。異国の地で生活をするということは非常に貴重な時間です。その貴重な時間を大切に、無駄にしないよう自分から積極的に行動して行ってほしいと思います。留学ではいかに主体的に行動できるかが一番大切だと感じました。自分の意志を持ち、常に前向きな姿勢で様々なことに取り組んでほしいです。実りのある留学生活を送ることができるよう願っています。